

平成25年 第8回沼田町議会臨時会 会議録

平成25年10月28日(月)

午後 4時28分 開 会

1. 出席議員

議 長	9番	杉 本 邦 雄	議 員	1番	津 川 均	議 員
	2番	上 野 敏 夫	議 員	3番	高 田 勲	議 員
	4番	久 保 元 宏	議 員	5番	長 原 誠	議 員
	6番	鶉 野 範 之	議 員	7番	絵 内 勝 己	議 員
	8番	中 村 保 夫	議 員	10番	渡 辺 敏 昭	議 員

2. 欠席議員 なし

3. 地方自治法第121条の規定により、説明のため会議に出席した者の職氏名
町 長 金 平 嘉 則 君

4. 町長の委任を受けて出席した説明員

副町長	神 憲 彦 君	総務課長	辻 広 治 君
政策推進室長	横 山 茂 君	財政課長	辻 山 典 哉 君
農業振興課長	栗 中 一 弘 君	商工観光課長	菅 原 秀 史 君
住民生活課長	谷 口 勲 君	建設課長	中 野 栄 治 君
保健福祉課長	吉 田 憲 司 君	旭寿園園長	三 浦 剛 君
和風園園長	橋 英 則 君		

5. 教育委員会委員長の委任を受けて出席した説明員

教育長	生 沼 篤 司 君	次 長	篠 原 毅 君
-----	-----------	-----	---------

6. 職務のため、会議に出席した者の職氏名

事務局長	浅 野 信 行 君	書 記	吉 田 正 晴 君
------	-----------	-----	-----------

7. 付議案件は次のとおり

(議件番号) (件 名)

会議録署名議員の指名

会期の決定

議案第79号 平成25年度沼田町一般会計補正予算について

(開 会 宣 言)

○議長（杉本邦雄議長）只今の出席議員数は10人です。定足数に達していますので、本日を以って招集されました平成25年第8回沼田町議会臨時会を開会します。これから本日の会議を開きます。本日の議事日程はお手元に配布のとおりであります。

(会議録署名議員の指名)

○議長（杉本邦雄議長）日程第1、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、会議規則第125条の規定により、10番、渡邊議員、1番、津川議員を指名致します。

(会期の決定)

○議長（杉本邦雄議長）日程第2、会期の決定についてを議題と致します。お諮り致します。本臨時会の会期は本日1日間に致したいと思っております。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長（杉本邦雄議長）ご異議なしと認めます。よって、会期は本日1日間に決しました。

(一 般 議 案)

○議長（杉本邦雄議長）日程第3。議案第79号。平成25年度沼田町一般会計補正予算についてを議題と致します。提案理由の説明を求めます。財政課長。

○財政課長（辻山典哉財政課長）議案第79号。平成25年度沼田町一般会計補正予算について。平成25年度沼田町一般会計補正予算を別冊のとおり提出する。平成25年10月28日提出、町長名であります。

別冊の補正予算第6号1頁お開き願いたいと思っております。

平成25年度沼田町一般会計補正予算第6号。平成25年度、沼田町の一般会計の補正予算第6号は次に定めるところによる。歳入歳出予算の補正。第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ、450万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ、52億2,369万6千円と定める。2項省略を致します。平成25年10月28日提出、町長名であります。

6頁をお開き願いたいと思っております。まず歳出であります。今回の補正につきましては、農産加工場製造費の補正のみでございます。提案理由を申し上げます。

トマトの生産量が当初計画の170トンを超えて50トン程度上回りまして、220トンを受入れ、製品化したところでありますが加工用トマト原材料費支出の増とともに、容器等関連経費に計画以上の支出が発生しており、現状の予算残額では今後の継続操業が困難になることから、12月補正を待たずして今回補正予算の提出をさせていただいたものでありまして、年間操業の実行予算として、各節予算の組み替えとあわせて必要額を増額させていただいたものでございます。

まず、賃金であります。予定をしておりました品質管理作業員の採用が出来なく減額をしたもの。それから繁忙期職員の早出シフトなどによるやりくりで人夫賃金が減額となったものであります。

11節需用費の増であります。シーマの故障による修繕、それからトマト受入れの増加によりコンテナの増加、水道使用料の増加などの外、燃料費の単価差等により増額としたものであります。

12節の役務費の増額であります。製品の増加により通信運搬費の増としてございます。

次に16節の原材料費であります。796万4千円の増加であります。加工用原材料費、トマトの受入増分で250万円。その他受託加工原料費が計画以上となったことによる増でございます。更に缶など容器におきましても、トマト缶をはじめ、その他容器が計画以上の量となったことにより、増額となったものでございます。なお、生産量の増加に伴いまして、売上げの増加となることから財源につきましては売上代金450万円を計上致しまして、収支の均衡を図っているものでございます。

以上申し上げまして、補正第6号の提案理由とさせていただきます。ご審議の程、宜しくお願いを申し上げます。以上でございます。

○議長（杉本邦雄議長）はい、説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑ありませんか。はい、絵内議員。

○7番（絵内勝己議員）7番、絵内です。今回、加工場の関係でそれぞれ昨年の計画、そしてまた今年の計画より多く生産量が増えたために、こういった入れるものだとか色々な面においてお金が掛かるということは分かるんですけども、私は常日頃から考えておいたのは、行政がこういった経済行為をする時に今のような単式簿記と言いましょうか、歳入、歳出だけの経理ではこの経営の内容っていうのが全く分かりづらいというのが現状だと思うのであります。私は少なくとも、こういった経済行為をする、そしてまた加工場のようにこういった場合、俗にいう在庫の管理だってなかなかしづらい状況にあると思います。そりゃあ調べれば分かるって言えばそうなんですけれども、経営を判断する上において大事な部分とかたくさんある訳ですけども、是非これから新しい、来年度から工場も新しくなる訳ですけれ

ども、一つの契機として、機会として複式簿記にもしできるものだったらすべきだ
と思いますけれども、その辺いかがでしょうか。

○議長（杉本邦雄議長）はい、財政課長。

○財政課長（辻山典哉財政課長）議員の仰るとおりで、私どももこの仕事に関して
は一般会計には非常になじまないという性質でございます。まあそんなことから新
年度、工場が新しくなるということも踏まえまして、公営企業会計、あるいは特別
会計とこういったものに向けていくことができるかどうか、今研究をし、出来るこ
とであれば公営企業会計として位置づけをし、経理をさせていきたいと、そんな風
に考えているところであります。

○議長（杉本邦雄議長）その他にありますか。はい、中村議員。

○8番（中村保夫議員）加工原材料350万円の内、トマトがきっと多少はいつて
いるんだろうけれども、今日予算が決まって、これから買い取りをするんだろうけ
れども、まああのたまさか今日午前中、流用というお話を聞きました。それで、こ
れは恐らく、これから買い取るのであればこれでいいかもしれないけれども、もし
もう蔵の中に入っているとすれば、こういったものこそ流用でね、人夫賃がこ
れだけ余るっていうのが分かっているんだから、なぜこれを流用で生産者に払って
やらなかったのか。これから買うんだったらこれでいいですよ。畑から積んできて
出荷するんだったら別だけでも。

なぜこれを逆に流用にしなかった理由を聞きたい。

○議長（杉本邦雄議長）はい、財政課長。

○財政課長（辻山典哉財政課長）いいところをついてきましたと言いますか。これ
はですね、正直申し上げますと、現課サイドから流用ということで私どもの所に話
がありました。

それで、午前中お話を申し上げましたとおり、いわゆる流用というものは一体ど
ういうものなのかということをお知らせしました。流用をして動かした中で、いわゆ
る金がそっちにあるから流用するということでは基本的にはない。つまり、そこに
不用額が発生する部分、それを使うのが流用であるということをお話をさせていただ
いたところでありまして、結果的にただ流用をただけのことで行きますと、1
2月の補正で流用された部分を増加をかけていきたいと、こういうこともあります
のでこのことには流用ということにはなじまない。これは、あくまでも補正とい
う形で行かないと、いわゆる午前中申し上げましたとおり、いわゆる目、節の構成
は最終的には款、項になるという中で、議会の議決権、こういったものを軽視する
予算になってしまうと。流用するとすれば。そういうことも踏まえて、敢えてここ
のところは補正予算という形を作らせてもらったということでございます。

宜しくお願い致します。

○議長（杉本邦雄議長）他に質問ありませんか。はい、高田議員。

○3番（高田勲議員）3番高田です。まあ収支を合わせる為にですね、この加工品売払収入を450万円としたのだとおもいますけれども、一般常識的に考えてみたら、350万円の原材料を仕入れて、450万円というのはあまりにも信じられない。しかも原材料としての比率ですから、とても信じられない話できっと年度末にはですね、450万円を限りなく、いっぱい売ってもらって、儲けていただきたいと私は思っているんですけれども、担当が栗中課長でございますので課長の意気込みを是非お聞かせいただきたいと思います。

○議長（杉本邦雄議長）はい、農業振興課長

○農業振興課長（栗中一弘農業振興課長）只今のご質問にございました、原材料を増額をして収入が450万円では足し算が合わないのではないかというお話かとおもいますけれども、現実申し上げますと、原材料費、増額をさせていただきまして、製品を作り上げまして、在庫として残る分を換算を致しますと、およそ800万円程の売り上げが見込めるものが残ってまいります。ただあの、先程申し上げましたように、会計の制度上、収支均衡といった制度上、そのようにしなければいけませんのでここで収入だけ上げますと、逆に言えばまた歳出も上げないと収支均衡にならないということもありまして、そういった含みも持った中での450万円の収入の増額ということでご理解を賜りたいという風に思います。

○議長（杉本邦雄議長）はい、その他に質問ありますか。

（「なし」の声あり）

○議長（杉本邦雄議長）質疑なしと認め質疑を終結いたします。これより討論に入ります。ご意見ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（杉本邦雄議長）ご意見なしと認め、討論を終結致します。本案について採決致します。お諮り致します。議案第79号は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（杉本邦雄議長）ご異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり決しました。

（閉 会 宣 言）

○議長（杉本邦雄議長）以上で本臨時会に付議された案件は全て終了致しました。これにて平成25年第8回沼田町議会臨時会を閉会致します。大変ご苦勞様でした。

16時40分 閉会